

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議

だい 11 期 だい 2 年 だい 2 回 だい 1 日
(第 11 期 第 2 年 第 2 回 第 1 日)

ぎじろく
議事録

1 日時 2017 (平成 29) 年 6 月 25 日 (日) 午後 2 時～5 時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 19 人

葉元聡、金スノオグ、レベトギアカン、幕内嘉雯、河本フアビオ
良則、ヘイジャファイ、スタントイルワン、ピーターソンケリー、河相宇、
バルトコバオクサナ、ホサニアハマド ユースフ、牟鳳菊、
ディットマーダニエラ、ケゼンダアエドワード ムウインビ、キースタ
ケーシージェイ、蔣香梅、ヴィラマージェリー、ヒラチャンアスカ、
サリアビシエク

(2) 事務局

小川担当課長、北谷担当課長、須藤課長補佐、丸橋職員、榎本職員、
高橋専門調査員

4 傍聴者 3 人

5 会議次第 (公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ヘイ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議 2017 年度、第 2 回
第 1 日を開催する。本日は、韓さん、ライゼールさん、鈴木イエレナさん、
アルナンシュさん、徐さん、鎌田さんが欠席だ。それでは、まずは今日の日程

と配付資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局須藤課長補佐が説明。)

ヘイ委員長「次に、前回会議のまとめについて事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明。)

ヘイ委員長「では、議事に移る。まずはオープン会議についてだ。事務局から資料の説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明。)

ヘイ委員長「資料について何か質問はあるか。(なし)では、審議を進めていく。まずは広報について。資料で、すでに実施しているもの、実施ができそうなもの、検討が必要または実施が難しいものにわけてある。実行委員会でも話し合ったが、実施ができそうなもののうち、Facebookの活用やチラシにアンケートでもらった声を紹介するなどは、効果的でよいのではないかという意見がでた。みなさんからは何かあるか。」

ホサニ委員「Facebookの活用は具体的にどういうイメージか。」

ヘイ委員長「事務局の方で情報発信用のアカウントを持っているそうなので、そこで広報してもらい、『いいね』などをして拡散するというイメージだ。」

ホサニ委員「実施が難しそうなものに入っているが、前回、やはり外国人の参加が少なかったので大学の留学生などにアピールしたらよいのではないか。実施が難しい理由は何か。」

ヘイ委員長「実施が難しいというよりも、大学といってもたくさんある。具体的にどの大学にということもあるし、大学に通っている人が川崎市に住んでいるとは限らない。それに、留学生は来なくてよいという意味ではないが、私たちが提言についての意見を聞きたいのが主に留学生なのか、ということも考えなければいけない。」

サリ委員「Facebookについてなのだが、『いいね』を押し以外のこと、イベントページなどは考えていないのか。」

ヘイ委員長「実行委員会でもイベントページについて話が出たが、それが本当に適切かはわからないという意見だった。」

サリ委員「イベントページを立ち上げて、『参加する』を押しってもらうことでどのくらい参加がありそうなのかということがわかる。」

ピーターソン部会長「イベントページはあってもよいかもしれないが、実際に参加するかどうかはあまり参考にならないと思う。」

ヘイ委員長「事務局はどうか。」

事務局高橋専門調査員「まず、正直にいうとFacebookの仕組みについてそれほど詳しくない。市のFacebookは基本的には情報発信を目的としているので、双方向のやりとりのようなことは想定していない。できるかどうかは、運用ポリシーを確認する必要もある。それと、Facebookはあくまでも広報手段の1つなので、そもそも人数を把握する方法として適切ではない。」

バルトコバ委員「私も『いいね』や『参加する』にはあまり効果がないと思う。それよりも、コミュニティのなかで情報を交換したり、拡散することに意味があると思う。」

キースタ委員「前回、交流会という部分を広報で強調するという意見もあったと思うが、オープン会議という名前でやらなければいけないのか。交流会という名前ではいけないのか。」

ヘイ委員長「事務局はどうか。」

事務局高橋専門調査員「正確には、臨時会という会議をオープン会議という名称で開いている。あくまでも正式な会議なので、交流会という名前にしてしまうのはどうかと思う。交流会の要素はあってもよいと思うし、広報をするときに強調するのもよいと思うが、名前が交流会というのは好ましくないと感じる。」

金部会長「すでに実施しているものがあつたことからわかるように、私たちが広報を把握していないという問題もある。周りの人たちに宣伝したりするためにも、どんな広報をしているのかを教えて欲しい。」

ヘイ委員長「いろいろと意見が出たが、広報の話だけで終わらせるわけにはいかないので運営、プログラム・企画などについても審議したい。オープン会議での具体的な審議の仕方や進め方などはどうするか。」

キースタ委員「分科会でわかれたあとに議論ではなくプレゼンをして、それぞれのプレゼンを聞いたうえで、全体で議論してはどうか。」

ヘイ委員長「ほかに何かアイデアはあるか。（なし）それでは、今のアイデアも含めてあらためて整理したうえで、次回また審議して決めたい。会議の時間についてはどうか。実行委員会ではアイスブレイクの時間が必要だという意見が出たが、会議の時間自体は今のままでいいという意見が多かった。交流会の時間を長くという意見もあったかと思うが、その場合は単純に交流会の時間を後ろに延ばすのか、それとも会議の時間をまわすのかということもある。」

ホサニ委員「去年はアイスブレイクに時間がかかって、ディスカッションの時間が少し短かったように感じた。14時開始ではなくて、30分くらい早く始めることはできないか。交流パーティーの時間は長くしなくてもよいと思う。」

ヘイ委員長「時間については、保育の開始時間は変更できないということがある。」

ケゼンダ副委員長「アイスブレイクの時間はあった方がよいと思うが、2時から5時までの3時間というのは参加する側からするとちょうどよいサイズだと思う。全体の時間の使い方工夫してはどうか。」

ヘイ委員長「時間については、チラシなどの広報の関係もあるので今日決めたい。開始時間は今まで通り14時でよいという人は手を挙げてください。（全員賛成）では、会議の終了時間は17時でよいという人は手を挙げてください。（全員賛成）では、14時開始で17時閉会とする。オープン会議についてはここまですべて、次にかわさき市民祭りの議事に移る。事務局から説明をお願いします。」

（事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明。）

ヘイ委員長「説明にあった通り、まずはテント、ステージ、パレードの参加について順番に決めていきたい。テントについて参加に賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）次に、ステージは実際に何かパフォーマンスなどができるとが約束できないと参加は難しい。参加しないということで賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）最後に、パレードについて参加に賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）では、次に参加日数について決めたい。まず、3日間とも参加できるという人はいるか。（なし）では、1日か2日間の参加ということになるが、1日に賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）では、参加は1日とする。具体的な日程は、パレードの日程に合わせてということで、決定したら事務局から報告をお願いします。それでは、部会審議に移る。移動の前に事務局から共通の資料説明をお願いします。」

（事務局高橋専門調査員が資料4-1、5-1に基づき説明。）

ヘイ委員長「それでは、各部会にわかれて審議をお願いします。」

【情報・社会教育部会】

ピーターソン部会長「それでは、情報・社会教育部会を始める。今日は前回の会議の確認をした後に、事務局からの補足、そして審議の振り返りを30分ほどして、最後に全体の議論の整理と次回の会議についてという流れで進めたい。まずは、

前回会議の確認を事務局からお願いする。」

(事務局丸橋職員が資料1に基づき説明。)

ピーターソン部会長「続いて、事務局からの補足説明をお願いする。」

(事務局丸橋職員が資料4-1に基づき説明。)

ピーターソン部会長「では、これまでの審議の振り返りに入りたい。前回、日本語学習についてはオリエンテーションコースの中で積極的に紹介するという方向で考えることに決まった。この部会としては、今のところオリエンテーションコースが提言の有力な候補だと思うが、一方で情報についてはまだイメージがはっきりしない部分がある。そこで、まずは情報を中心に審議を深めたい。」

スタント委員「どれが最新の情報がわかりにくいというのがあるので、情報に日付をつけて欲しい。」

ピーターソン部会長「基本的にはすべて日付がついていると思うが。」

スタント委員「日付が古いものもあるので定期的に更新して欲しい。」

ドイツマー委員「確認したいのですが、ウェブサイトの情報は広報部門がまとめて管理しているのか。それともそれぞれの専門の部署が作成したり、管理しているのか。」

事務局丸橋職員「全体の管理者もいるが、各ページの作成や更新はそれぞれの担当がしている。」

ヴィラマー委員「ガイドラインで一律の更新サイクルを決めればいいのか。」

ピーターソン部会長「情報が最新かどうか、ということ以外には何かあるか。」

サリ委員「情報の整理について、カテゴリーごとに見つけやすくするという意見があったかと思う。」

ピーターソン部会長「カテゴリーはすでにある。」

サリ委員「カテゴリーはあるが、その中にどういった情報があるのかがわからない。」

ピーターソン部会長「サイトマップのようなものが欲しいということか。」

レベト委員「内容の要約のようなものが欲しい。とくに外国人の場合にはキーワードの説明があるとわかりやすくなる。」

キースタ委員「この前の議論では、PDFだとサーチエンジンに引っかからないので、HTML形式がよいという意見も出た。」

ディットマー委員「私もHTML形式がよいと思うが、問題は自分で言葉を入れても見つけられないということだ。カテゴリーごとに検索キーワードがあるといいのではないか。」

キースタ委員「いろいろな意見が出ているが、実際に提言にするとしたらどうなるのか。こういった細かい提案は提言になるのか。」

スタント委員「今は情報の整理という話になっているが、もともとはどうやって情報を届けるか、発信するかということに関心があったと思う。たとえば、メーリングリストをつくるのはどうか。」

事務局丸橋職員「2月の会議資料でも紹介したが、川崎区には『インターコムかわさきく』というメルマガがある。ただ、利用者はそれほど伸びていないという課題があるそうだ。メーリングリストやメルマガという方法が有効なのか疑問だ。」

キースタ委員「基本的には、ネット上の情報を中心に審議していたが紙媒体のものについてはどうか。」

ディットマー委員「年配の人もあるし、誰でもインターネットやスマホが使えるとは考えない方がよいと思う。日本に来たばかりの人でまだ携帯電話を持っていない人もいる。紙媒体は必要だと思う。」

キースタ委員「ウエルカムセットに何かくわえるということは検討したりするか。」

ディットマー委員「それはしなくていいと思う。ひとまず、現状でよい。それよりも情報を有効に活用するためにオリエンテーションコースへとつなげる方が大切だと思う。」

ピーターソン部会長「情報については、資料4にもあるように今期はネット上のものに絞って審議することにしたはずだ。次に、残り時間のこともあるので、オリエンテーションコースの審議もしたい。前回、ウエルカムセットの内容を中心にするという方向で進めていたが、ウエルカムセットの内容以外にも保険や年金、税金など外国人市民が知っておくべき内容を取り入れた方がよいのではないか。とうのも、私も日本に来たばかりのころ保険って何？というような状況だった。年金に加入しなければいけない、義務だということも知らなかったり、よくわかっていない人も多い。」

ピラチャン委員「今の提案に賛成だ。たとえば、年金は国の制度だが、外国人に対して説明するような機会は国としてない。」

ディットマー委員「どこまで詳しく説明するかということがあと思う。保険も年金

も制度としてすぐわかりづらいので、制度を詳しくというよりも、まずは制度があることを認識してもらおうのがよいと思う。」

幕内委員「私も実際、日本に来たばかりのころに国民健康保険について説明されたが、通訳もいなくてよくわからなかった。加入はしたが、そのあと引っ越したときにまた加入しなければいけないのがわからなかった。」

ヘイ委員長「詳しいことについては、窓口へ行ったり、自分で調べるという方向で、まずは紹介するという程度でよいのではないか。」

ピーターソン部会長「そろそろ時間だ。次回の会議は9月になるが、提言の候補の絞り込みに入る。みなさん、できるだけ具体的に提言のイメージを考えてきて欲しい。最後に、私事になるが、会社で人事異動があり日本から離れることになったため、代表者会議を辞めることになってしまった。今後のことについて、委員長から説明をお願いします。」

ヘイ委員長「残念ながらケリーさんが辞めてしまうということで、今後の部会について正副委員長、ケリーさんと事務局で話し合った結果、部会長については、副部会長のゲーシーさんに部会長になっていただくことで了解を得ている。副部会長については、残りの会議も少ないので、もし何かあったときには私が代理ということで、新たに副部会長を選ぶということはしないことにしたい。みなさんそれでよろしいか。（異議なし）では、9月からはゲーシーさんが部会長ということでお願いします。」

ピーターソン部会長「説明ありがとうございました。それでは、これで本日の部会を終わりにする。」

【地域生活部会】

金部会長「それでは、地域生活部会を始める。みなさん資料は見てきていると思うが、事務局から補足をお願いします。」

（事務局高橋専門調査員が資料5-1に基づき説明。）

金部会長「防災アプリについて宿題にしていたがどうか。」

バルトコバ委員「アプリは結構よかった。ただ、日本語しかなかったのが外国人には読めない人もいると思う。せめて英語があるといいと思う。」

河本委員「詳細まではわからなくても、せめて英語で洪水だとか、大雨だとかそのくらいのことでも事前にわかるとよいと思う。」

蔣委員「多言語というより、やさしい日本語はどうかと思う。」

河本委員「ルビつきでもよいかもしれない。」

バルトコバ委員「避難所と緊急情報のタイトルはせめて英語にして欲しい。」

金部会長「今日は部会の時間が短いので、ほかのテーマについても振り返りをしたい。保育園についてはどうか。」

バルトコバ委員「資料が難しくてわかりづらい。実際に区役所へ行って詳しく聞いても、なかなかわからない。何回も質問してわかるまで答えてもらったが、家に帰って資料を見るとやっぱり結構悩んだりした。」

河本委員「保育園の制度は日本人にとってもややこしい。妻は日本人だが、それでも資料を見て難しいと言っていた。きっと外国人にはもっとわかりにくいと思う。細かいことを全部は無理でも、制度の概要やどうやって申請するのかなど、そういった部分で何か改善できるとよいと思う。」

バルトコバ委員「もう1つ思い出したことがある。区役所でいろいろと質問したのだが、最初からあなたは無理ですというような対応をされた。週2回の仕事を3回にできますかとか、もう少し相談に乗ってアドバイスをくれると嬉しい。最初から無理だと言われてしまうと残念な気持ちになってしまう。私はそれで諦めてしまった。知り合いの中国人は、2回目の申請でパスした。それを聞いて私も諦めなければよかったと思った。」

ホサニ委員「保育園の制度に関しては、この会議で提言しても変えることができない。それよりも健診のお知らせの方が現実的なのではないかと思う。」

金部会長「医療・病院についてはどうか。」

ケゼングア副委員長「やはりこの会議でできることは限られていると思う。個人的には、かわさきのお医者さんや多言語医療問診票などがもっと多くの人に伝わるのが重要だと思う。そうであれば、この部会のテーマというよりも情報・社会教育部会のテーマに近くなってくる気がする。この部会では、子育てや防災のことに絞った方がいいのではないか。」

ホサニ委員「医療・病院の課題が言葉の問題と関わっているなら、言葉の問題を完全にクリアするのは、理想だが現実には難しい。私もエドワードさんの意見に賛成で子育てと防災に絞った方がよいと思う。」

金部会長「ほかの人はどうか。医療・病院のテーマは今後の議論から外してもよいのか。」

ホサニ委員「外すと言ってしまうと、誰もやらないということになってしまうので、情報・社会教育部会で検討してもらおうというのがよいのではないか。」

金部会長「では、医療・病院については情報提供という枠組みで情報・社会教育部会で検討してもらい、地域生活部会としては、審議は終わりにするということがよいか。賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）それでは、残った時間で振り返りを続けたい。」

蔣委員「さっき意見が出たが、防災アプリはルビつきでもいいかもしれない。」

事務局高橋専門調査員「技術的なことについて少し説明させて欲しい。市のウェブサイトもそうなのだが、インターネットだとルビが振りづらい。漢字の後ろに（）でひらがなが書いてあったりして、逆に読みづらいという意見も多い。アプリも同じようなことになると思う。ルビつきというのは、現実的ではないと思う。それともう一つ。子育てのところでホサニさんが保育園の制度は変えられないので、健診のお知らせの方がいいのではないかと考えたと思う。たしかに、制度を変えることはできないが、制度も難しいし、日本語もわからないから最初から申請しないということになってしまうのはどうかと思う。決めるのはみなさんだが、実際に利用するかどうかは別として、制度へのアクセスはなるべく開かれているべきだと思う。」

河本委員「先ほども言ったが、制度の概要や書類の書き方の説明はあってもよいと思う。」

ケゼンダ副委員長「オクサナさんも、無理だと言われて諦めてしまったと言っていた。もう少し制度のことが理解できていれば、チャレンジしていたかもしれない。」

金部会長「私も親が日本語ができないからということで、子どもが保育を受けられなかったりするのは問題だと思う。今日は医療・病院は審議テーマから外すということを決めたが、次回はさらに絞っていくことになる。何か必要な資料のリクエストはあるか。」

ケゼンダ副委員長「保育園の申請書のサンプルのようなものがあるとよい。」

河委員「保育園と幼稚園の違いがあまりよくわからない。うちは幼稚園なので保育園は詳しくない。制度の違いを説明してもらえると助かる。」

金部会長「ほかにあるか。（なし）それでは、以上で部会審議を終了する。」

【全体会】

ヘイ委員長「それでは全体会を再開する。まずは、情報・社会教育部会から部会報告をお願いする。」

ピーターソン部会長「今日は振り返りをした。情報の具体的なイメージがつかめていないという部分があったので、まずはそのことについて審議した。1つ目は、どれが最新の情報なのかかわからないということが出た。日付が古かったりすると本当に最新の情報なのか心配になるということだ。定期的に情報をチェックして、更新日などをアップデートするとよいのではないかという意見が出た。2つ目は、市のホームページにはライフイベントごとにカテゴリーがあるが、情報が多いため、ナビゲーションやサイトマップがあるとよいといった意見、内容の要約が欲しいという意見などが出た。紙媒体の情報についても少し意見が出たが、このテーマを選んだ時に今期はホームページの改善に絞るといことにしたということを確認した。オリエンテーションコースについても審議した。今まではウェルカムセットを中心にオリエンテーションをすることで話をしてきたが、そもそもの目的としては市の情報を積極的かつ効率的に市民に伝えるということが目的だったので、あえてウェルカムセットに限定することはせず、行政の制度などについても入れた方がよいのではないかということをお話した。とくに、税金や保険、年金などは制度が結構複雑でわかりにくい。それをすべて説明することは不可能だが年金への加入は義務であることなど、大切なことは伝える必要があると思う。次の会議は9月で、実際にどういった提言にするのかという絞り込みになるので、それぞれが具体的にイメージしていただくことを宿題にした。」

ヘイ委員長「何か質問や意見はあるか。」

河委員「情報が最新のものかどうかわかるのはよいアイデアだと思った。ただ、情報はテーマが広いのでこれからどうやって絞っていくのか関心がある。」

ケゼングア副委員長「紙媒体の情報の扱いについて、もう少し説明して欲しい。」

ピーターソン部会長「紙媒体の情報も大切だという認識は持っている。ただ、今回は新たにこういった紙媒体の情報が欲しいということは提案しないということで審議している。」

ケゼングア副委員長「たとえば、医療関係の情報はウェブにはあるが、紙媒体のものはほとんどない。区役所の情報コーナーに行っても見つからなかった。そのあたりは検討しないのか。」

ピーターソン部会長「今の話はよくわかって、大事だと思うが今期は視野に入れていない。」

ヘイ委員長「続いて、地域生活部会からの報告をお願いします。」

金部会長「地域生活部会でも今日は振り返りをした。子育てについては、保育園についてと健診についてとても関心が高かった。保育園については制度も複雑だし、申請も難しいという意見が多かった。健診については、お知らせが日本語なので、予防接種の案内のように封筒を工夫したり、多言語情報の紹介をしたりできないかという意見だ。医療・病院については、課題は多くあるがこの代表者会議でできることは限られているということで、独立した提言にはせずにオリエンテーションコースのなかで取り組むのがよいのではないかとということで、情報・社会教育部会に任せようということになった。防災・災害については、前回宿題を出した防災アプリについて、緊急時災害情報はタイトルだけでもやさしい日本語にできないかという意見が多く出た。」

ヘイ委員長「私から質問だが、医療・病院について具体的にどのようなことをどこまでオリエンテーションコースでやって欲しいのか。」

金部会長「まだ具体的にそこまで審議が深められていない。一応、すでにあるものとしては、かわさきのお医者さんやMICかながわの医療通訳派遣、多言語医療問診票などがある。こういったものが有効に活用された方がいいと思う。できれば、情報・社会教育部会で検討してもらえればと思っている。」

サリ委員「119は多言語対応しているというのが本当か。」

金部会長「利用したことはないが、24時間対応だそうだ。」

サリ委員「日本語以外でいきなり話しかけても対応してもらえるのか。」

金部会長「具体的なやりとりまではわからない。」

事務局高橋専門調査員「私も実際に経験したわけではないが、三者間通話という仕組みで対応するそうだ。もちろん、電話に出た瞬間から会話が成立するというわけではないと思う。同時通訳ではないので多少のタイムラグはあると思う。」

ピーターソン部会長「話が戻るが、医療・病院についてはオリエンテーションコースで対応ということで、具体的なことは情報・社会教育部会で審議して欲しいということだが、地域生活部会ではまったく話し合わないのか。」

金部会長「先ほど話したように、いろいろな制度の紹介にはなると思う。」

河委員「丸投げという意味ではないので誤解しないで欲しい。」

ヘイ委員長「全体会での部会報告もあるので、みなさんで審議を共有して行こう。それでは、部会報告は以上にする。次に、実行委員会報告をまずはニューズレター編集委員会からお願いする。」

デイトマー委員 「今日は1月発行予定の61号について記事の担当者を決めた。
世界のおすすめスポットについては、今日は欠席だがアルナンシュュさんに書いてもらうことにした。」

ヘイ委員長 「次に、市民祭り実行委員会からの報告をお願いします。」

サリ委員 「インターナショナルフェスティバルが来週末に迫っている。内容については、これまでのものにくわえて大人向けのクイズをやろうということになった。川崎市に関するクイズだ。何かクイズの案があれば事務局まで連絡して欲しい。それと、当日の参加者の確認をしたい。(参加者の確認)次に、多文化フェスタさいわいについてだが、基本的にはインターナショナルフェスティバルと同じ内容を考えている。出欠は次回の会議でとりたい。」

ヘイ委員長 「本日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いします。」

【事務連絡】

- ・インターナショナルフェスティバルについて
- ・議事録の確認について

ヘイ委員長 「最後に、今日の会議をもってケリーさんが代表者をやめることになってしまったので、みなさんにご挨拶をいただければと思う。」

ピーターソン部会長 「先月、会社で人事異動があり、日本から離れることになったので、代表者会議を辞めることになった。続けたいと思っていたので、残念だ。今までみなさんと一緒に議論できて、たくさんの意見交換がこの場でできたことは本当に嬉しく思っている。部会長だったので、これから提言を絞って、まとめていくという時にいなくなってしまうことは本当に申し訳ないという気持ちでいっぱいだが、川崎市が住みやすいよりよいまちになるように提言をつくってもらえればと思うので、引き続きみなさんよろしくお願ひします。ありがとうございました。」

ヘイ委員長 「ケリーさん、今までありがとうございました。7月と8月は会議がないので、次の会議は9月3日になる。午後2時から、ここ国際交流センターで開催する。会議はないが、7月2日にはインターナショナルフェスティバルがあるので、みなさん参加をお願いします。それでは、これで2017年度、第2回第1日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」